

第 3 委員会報告資料

福岡市美術館リニューアル事業実施方針の
策定等について

平成 26 年 12 月
経済観光文化局

福岡市美術館リニューアル事業（以下「本事業」という。）について、実施方針及び要求水準書の案を取りまとめたので報告するもの。

なお、これらについては、今後、事業者に対して公表し、事業者からの有益な意見等を踏まえ、見直し及び変更を行う場合がある。

実施方針	PFI法第5条に基づき、公共施設等の管理者が特定の事業をPFIで実施するにあたり、その方針を定めるもの
要求水準書	福岡市が本事業において事業者を求める業務の内容等について示すもの

※ PFI法：民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成11年法律第117号）

○入札公告までの流れ（予定）

平成26年12月議会	実施方針・要求水準書（案）の報告
12月25日	実施方針・要求水準書（案）の公表（質問・意見募集）
平成27年1月 8日	実施方針説明会の開催
1月16日	実施方針等に関する質問・意見の受付締切
2月 5日	実施方針等に関する質問・意見の回答
平成27年 3月議会	特定事業の選定（報告）・債務負担行為（議決）
平成27年 4月	入札公告

1 実施方針(案)の概要

(1) 事業の概要

① 事業目的

本事業は、民間活力やノウハウを活用することで、大規模改修及びリニューアル後の維持管理・運営を効果的・効率的に実施するとともに、ソフト・ハードの両面においてさらなる魅力の向上を図ることを目的とする。

② リニューアルの方針 「つなぐ、ひろがる美術館をめざして」

- ◇ すぐれた建築意匠を後世に継承
- ◇ 安全な収蔵環境、快適な展示環境の再生
- ◇ 市民の美術創造・発表・学習・交流機能の充足
- ◇ 利便機能の魅力向上
- ◇ 人々を誘う機能の強化

③ 事業範囲

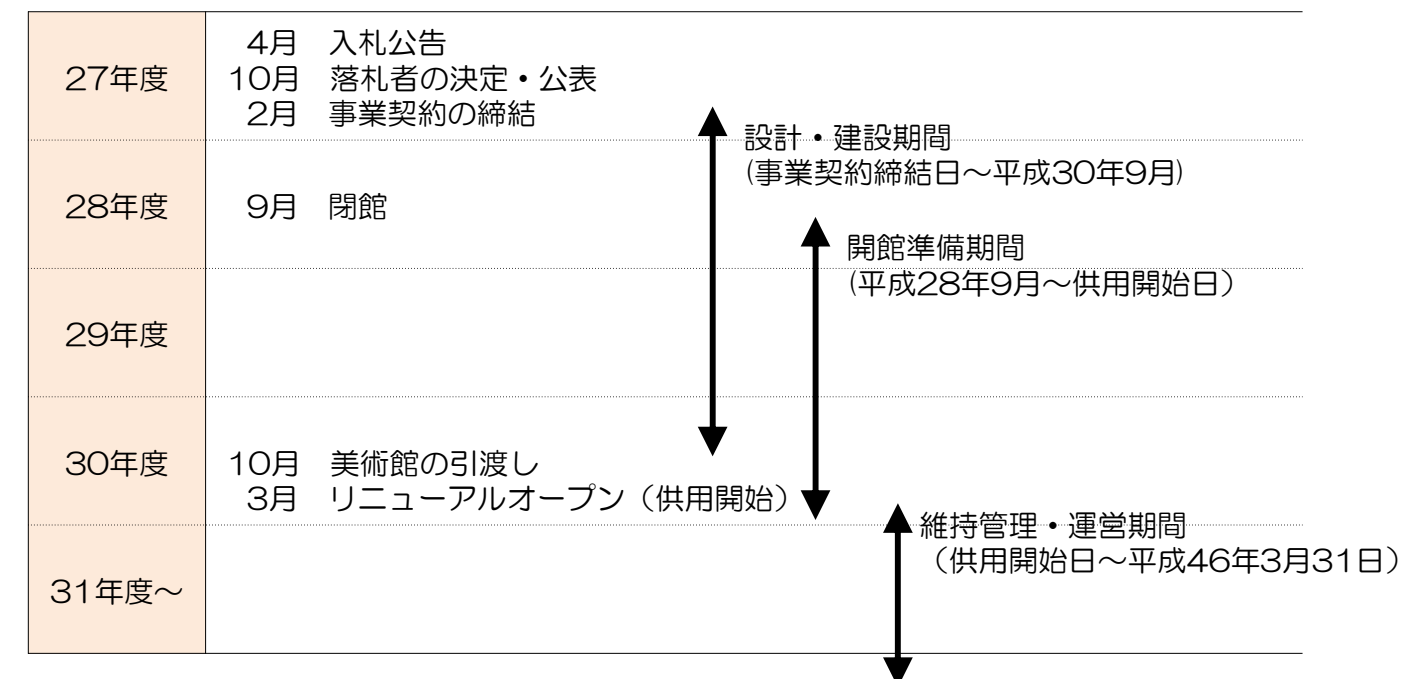
- ◇ 設計・建設業務
- ◇ 開館準備業務
- ◇ 維持管理業務
- ◇ 運営業務

④ 事業方式

事業方式：PFI（RO: Rehabilitate Operate）方式

事業類型：サービス購入型、一部独立採算（レストラン等）

⑤ 事業スケジュール



(2) 事業者の募集及び選定

① 入札参加資格要件

（共通要件は記載省略）

業種	参加資格要件
設計	・福岡市競争入札有資格者名簿（委託：建築設計、設備設計、土木設計のいずれか）への登載 ・一級建築士事務所登録の事務所で福岡市競争入札有資格者名簿（委託：建築設計）への登載（1社以上）
工事監理	上記に同じ
建設	・建設工事に係る特定建設業の許可 ・福岡市競争入札有資格者名簿（工事）への登載 ・建築工事の種類に応じて、経営事項審査における総合評価値が、建築一式900点以上、電気工事820点以上、管工事800点以上 ・経営事項審査において建築一式の総合評価値が1,100点以上（1社以上）

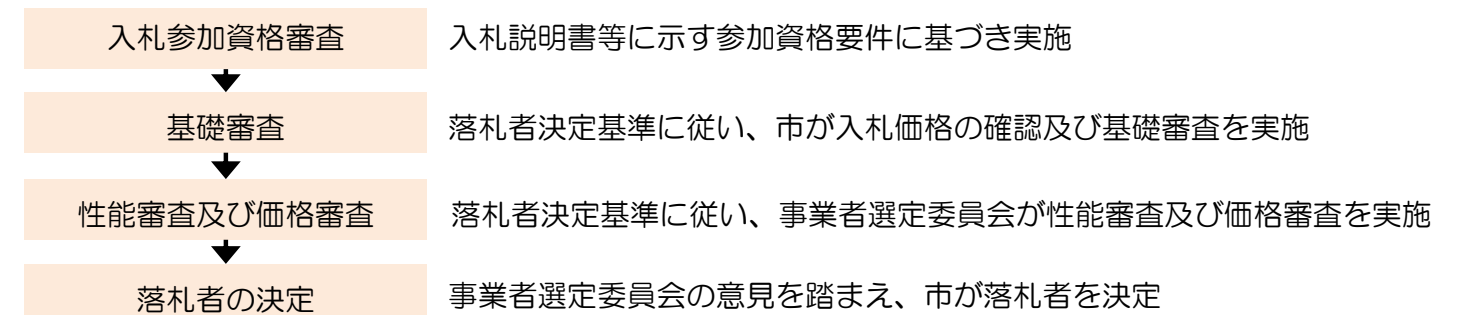
※上記3業務を行う者で、福岡市競争入札有資格者名簿に登載されていない者は入札参加審査申請を行えば資格審査を行う
※維持管理及び運営については参加資格要件は特に定めない

② 選定方式

総合評価一般競争入札方式

※入札価格に加え、業務遂行能力、事業計画の妥当性等を総合的に評価。WTO政府調達協定の対象。

③ 事業者選定の手順



④ 事業者選定委員会委員

委員長	坂井 猛	学識経験者（建築）	九州大学新キャンパス計画推進室教授・副室長
副委員長	美原 融	学識経験者（経済）	大阪商業大学総合経営学部教授
委員	西村 勇晴	学識経験者（美術）	北九州市立美術館館長
委員	東原 克行	学識経験者（建築）	株式会社前川建築設計事務所プロジェクト・チーフアーキテクト
委員	落石 稔彦	行政	福岡市経済観光文化局理事

2 要求水準書(案)の概要

(1) 設計・建設業務 (実施設計、改修工事、工事監理など)

P3~P4のとおり

(2) 開館準備業務 (リニューアル広報、収蔵品等情報システム開発など)

<事業者を求めること>

- 美術館に対するイメージの向上
- リニューアルの周知によるオープン時の来館者増加

<要求水準の内容等>

- ロゴ・シンボルマーク・広報物の制作による美術館のイメージ向上
- オープニングイベント等の開催によるリニューアルの周知
- 収蔵品等の検索・閲覧ができる情報システムの開発

(3) 維持管理業務 (建築物及び設備保守管理、清掃、警備など)

<事業者を求めること>

- 施設特性やIPM(総合的有害生物管理)の理念を踏まえた施設の維持管理
- 建築物や美術品を長期に渡り継承していくための施設の計画的な予防保全・修繕

<要求水準の内容等>

- 美術品の保全に必要な温湿度の確保など望ましい施設の状態を保つための維持管理・修繕
- 来館者が快適に過ごすための施設管理や清掃
- 来館者や美術品の安全を確保するための適切な警備

(4) 運營業務 (利用者対応、広報・集客、レストラン・カフェの運営など)

<事業者を求めること>

- 民間ノウハウの活用による業務の効率化、サービスの向上、魅力の向上
- プロモーション力の向上とそれに伴う来館者の増加

<要求水準の内容等>

■ 運営体制

人員体制をはじめ、受付案内や料金徴収の方法など運営方法を事業者委ねることで、効率的でサービス力の高い運営体制を構築する。

■ 広報・集客業務

広報や集客業務を事業者委ね、民間事業者の有するノウハウを活用することで、来館者の増加を目指す。また、文化・芸術に関連するものを中心に集客イベントを開催する。

■ 開館日・時間

美術館の開館日・時間について事業者提案とし、利用者の利便性と満足度の向上を図る。
条件：休館日週1回、展示室の開室は1日8時間 など

■ レストラン・カフェの運営

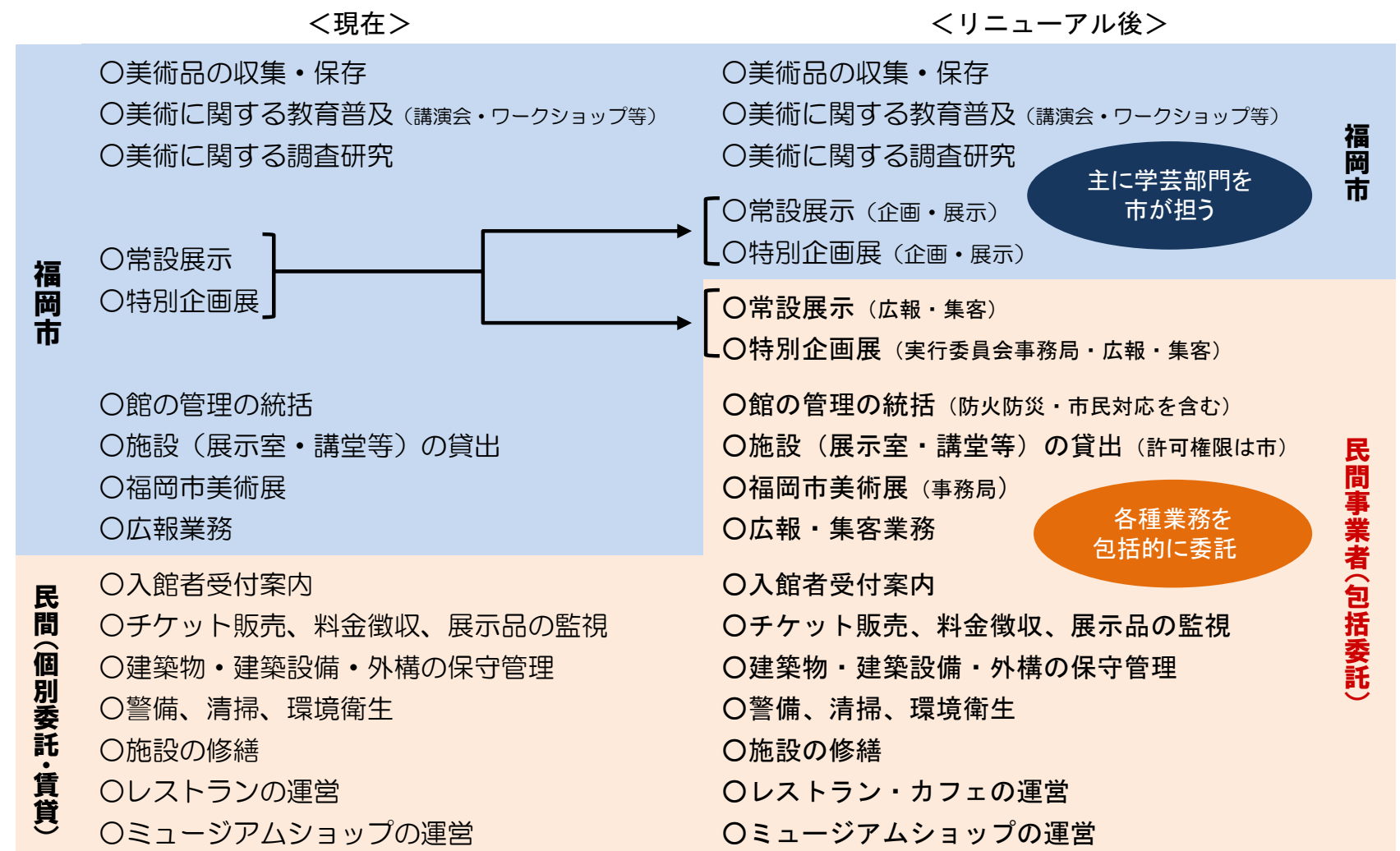
民間のマーケティング力を生かし利用者ニーズを的確に捉え、美術館にふさわしい魅力あるレストラン・カフェを設置・運営する。

■ ミュージアムショップの運営

取扱商品やサービス方針を事業者委ね、民間ノウハウを生かした魅力のあるミュージアムショップを設置・運営する。また、民間の企画力を生かしたオリジナルグッズの開発を行う。

リニューアル開館後の市と民間事業者の役割分担

- 美術館の根幹となる「美術品の収集・保存」、「展覧会の企画・開催」、「教育普及」などの業務については引き続き市が直接担う。
- これまで民間に委託等を行ってきた業務に加え、「広報・集客業務」、「特別企画展の事務局」、「館の管理統括」、「施設の貸出」などの業務を民間に委ねる。



① 改修方針

- 我が国を代表する建築家である故・前川國男氏の建築意匠と美術館の建物自体を後世に継承し、市民の誇りとなる美術館として整備する
- 市民の貴重な財産である美術品の展示、保存などの基本機能向上、ユニバーサル化や環境負荷の軽減、親しみやすく快適な場を提供する
- 集客・交流拠点として魅力あふれる美術館へリニューアルするため、リニューアル後の美術館運営に効果的な施設・設備の改修を行う

② 配慮事項

- 新アプローチやカフェ、レストランなどの整備における魅力向上への配慮
- 新アプローチ・カフェのデザインなどにおける公園全体に調和した景観への配慮
- エレベーターの拡幅、多目的トイレの新設などによるユニバーサルデザインへの配慮
- 設備機器の全面更新、LED照明器具の導入などにおける省エネルギー対策への配慮
- 館内で発生する騒音や振動への対策による、展示室などにおける静粛な室内環境への配慮
- 展示室や収蔵庫の改修による美術品保存環境改善への配慮

○施設改修等計画（1階）※主なもの

青字: 拡充、改修 赤字: 新設、移設

1) 収蔵庫の拡充・改修

課題: 「施設設備の老朽化による収蔵機能の低下」
「収蔵庫のスペース不足」

- 空調設備更新、内装改修による機能回復
- 収蔵庫の拡充により適切なスペースを確保
* 格納庫等（青点線部分）を収蔵庫へ改修
(H26年度完了予定)
- * 5室（約1,400㎡）⇒6室（約1,600㎡）

3) ミュージアムショップ移設

課題: 「便利施設の魅力向上」
○ 1階ロビー階段吹抜け付近に魅力あるショップを新たに整備
(現在2階にあるブックショップを移設)

4) 講堂改修

課題: 「多様な利用への対応」
○ 防音のための前室新設、座席レイアウト変更、音響機器の更新など
○ 講演会のほか、上映会、演劇、コンサートなど多様な利用に対応（約210㎡）

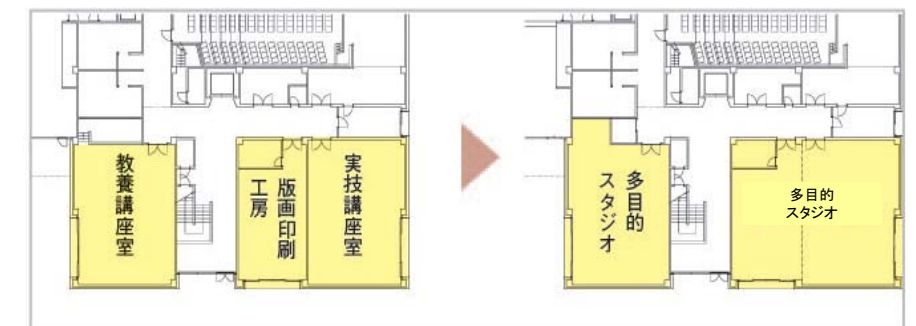
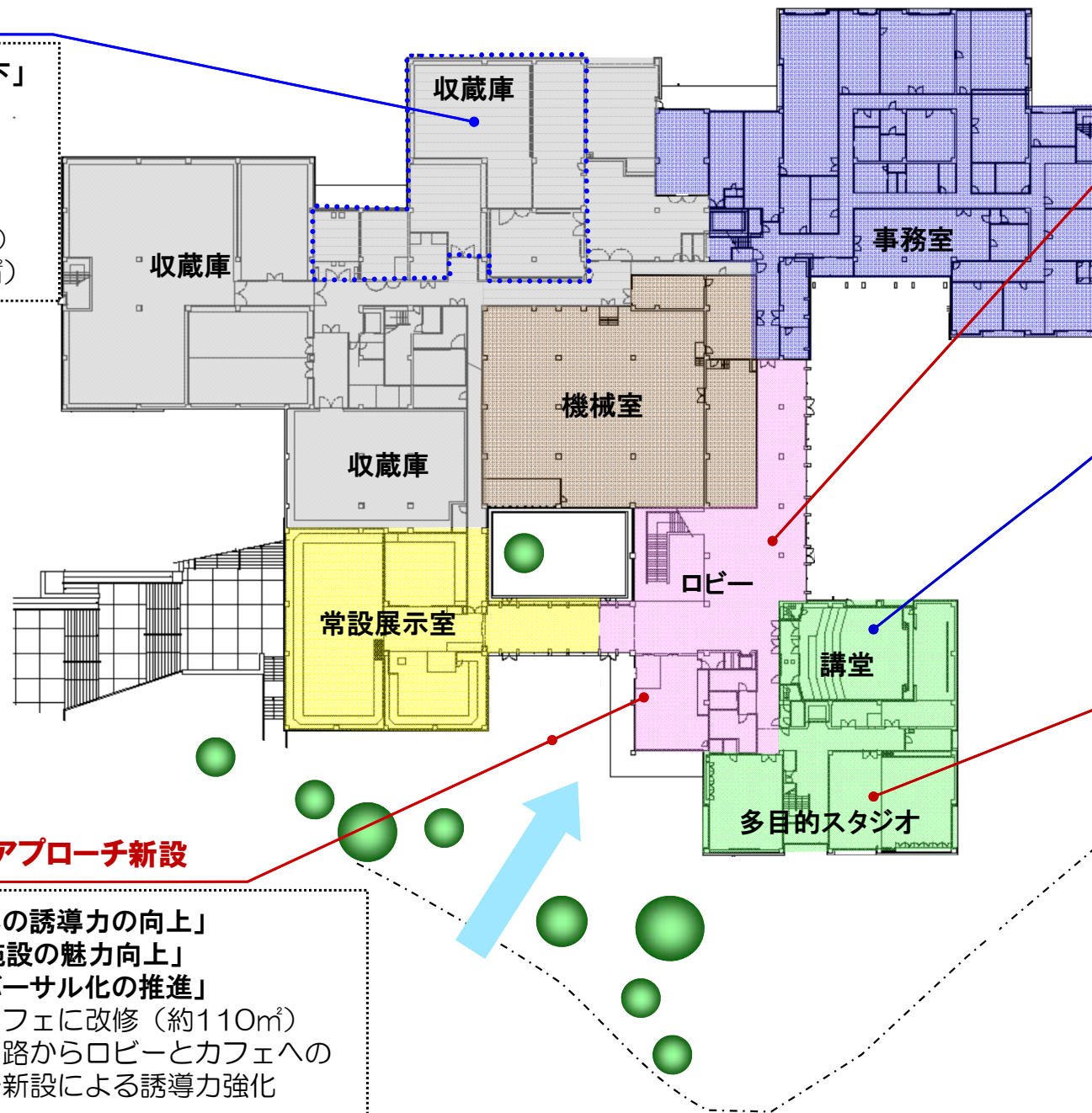
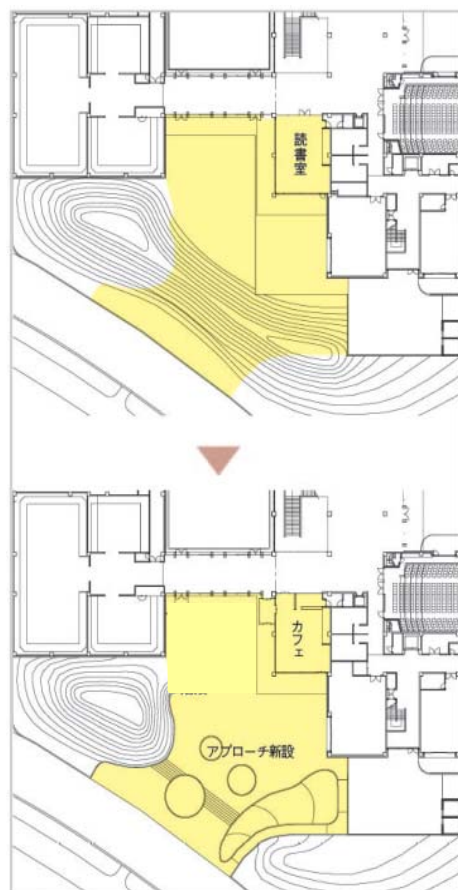
5) 多目的スタジオ新設

課題: 「様々な教育普及活動への対応」
○ 実技講座室外2室を多目的スタジオに改修
○ 講義のほか、ワークショップ、パフォーマンス活動などに対応（約340㎡）

2) カフェ・アプローチ新設

課題: 「館内への誘導力の向上」
「便利施設の魅力向上」
「ユニバーサル化の推進」
○ 読書室をカフェに改修（約110㎡）
○ 大濠公園園路からロビーとカフェへのアプローチ新設による誘導力強化

大濠公園園路



<多目的スタジオ新設>

<カフェ・アプローチの新設>

○施設改修計画（2階）※主なもの

青字: 拡充、改修 赤字: 新設、移設

1) 常設展示室の拡充・改修

課題: 「施設設備の老朽化による展示機能の低下」
 「常設展示室のスペース・誘導力不足」
 ○ 絵画だけでなく映像やインスタレーション (注) の展示に対応する常設展示室の整備
 ○ 空調設備更新、LED照明器具の導入
 ○ 特別展示室Bなどの間仕切り壁を撤去し、2階常設展示室の順路設定
 * 1,2階全体で 7室 (約2,000㎡)
 ⇒ 6室 (約2,200㎡)
 ≪ 2階は近現代美術作品を展示 ≫

(注) インスタレーション
 ⇒ 空間全体を作品として体験させる現代美術の表現方法

4) 特別展示室改修

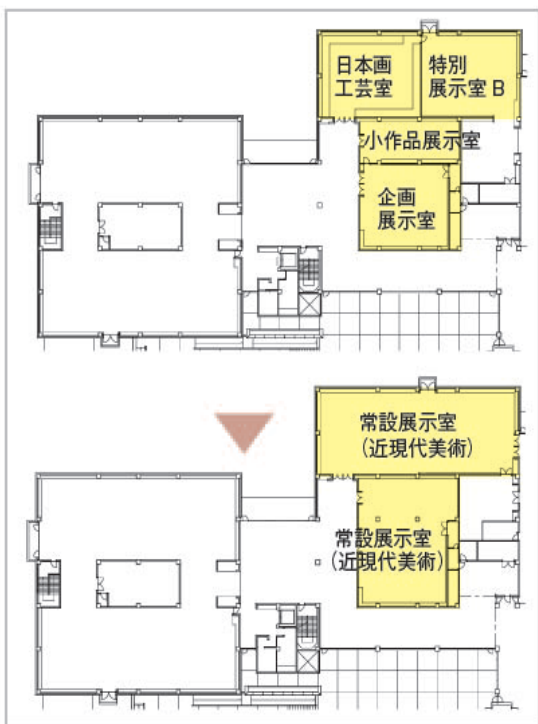
課題: 「施設設備の老朽化による展示機能の低下」
 ○ 空調設備の更新
 ○ LED照明器具の導入
 ○ 可動展示壁の再編や展示ケース・内装を改修し、様々な特別企画展を開催 (約1,300㎡)

5) キッズコーナー移設

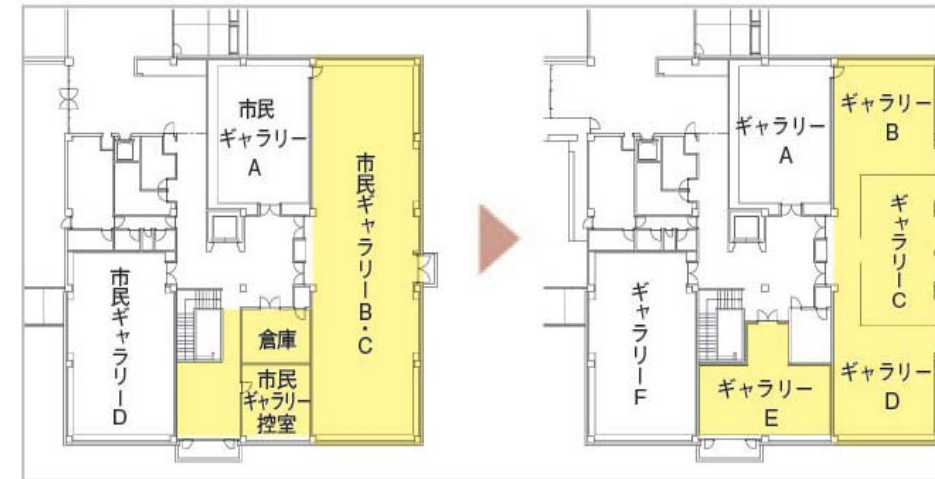
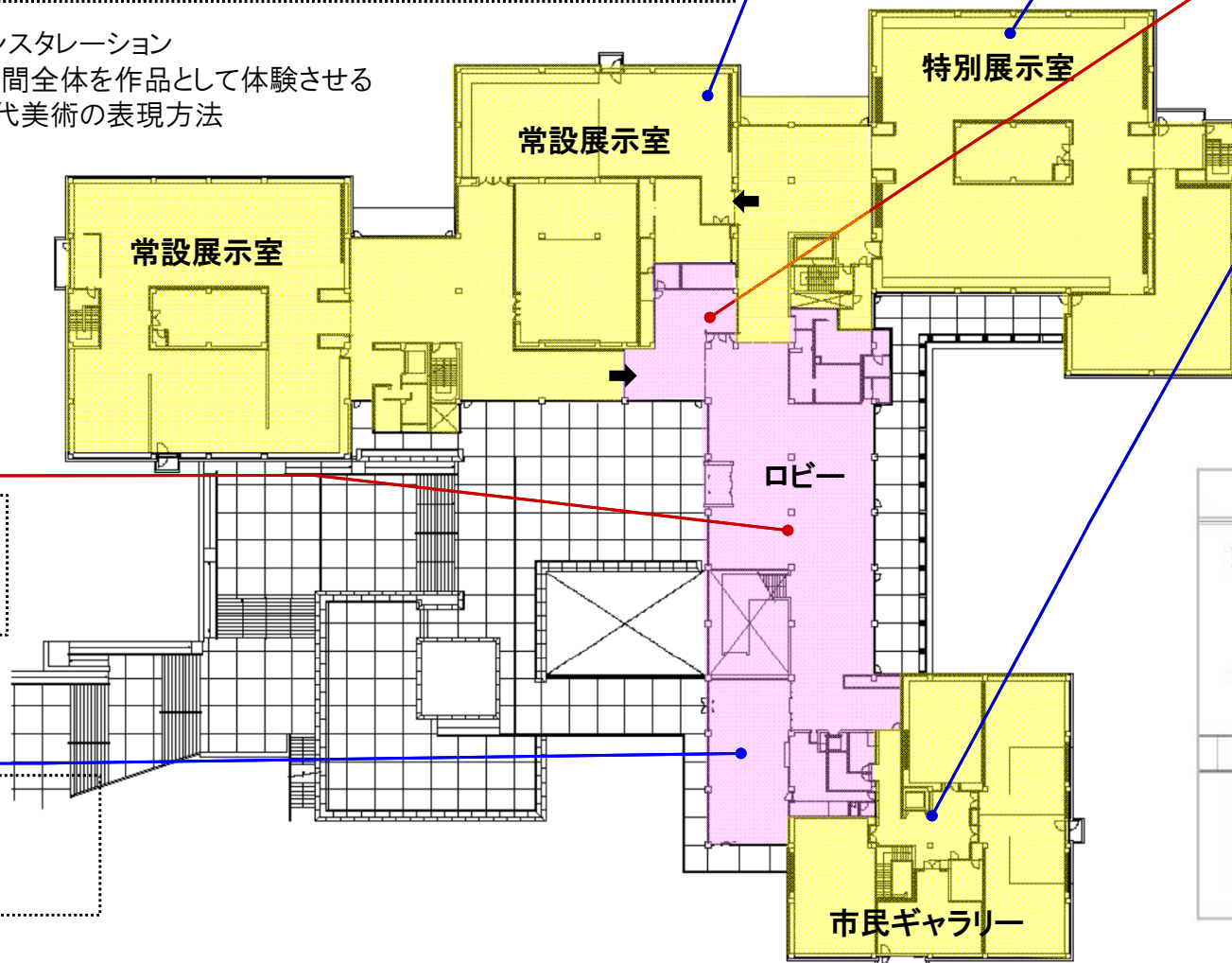
課題: 「便利施設の魅力向上」
 ○ 現ブックショップの位置に、キッズコーナー及び授乳室を移設 (約50㎡)

6) 市民ギャラリーの拡充・改修

課題: 「市民ギャラリーのスペース不足」
 ○ 控室・ロビーをギャラリーに改修
 ○ 可動間仕切り壁により最大6室まで利用可能とする
 * 4室 (約610㎡) ⇒ 6室 (約710㎡)



< 展示室の間仕切り撤去 >



< ギャラリーの拡充 >

2) 情報コーナー新設

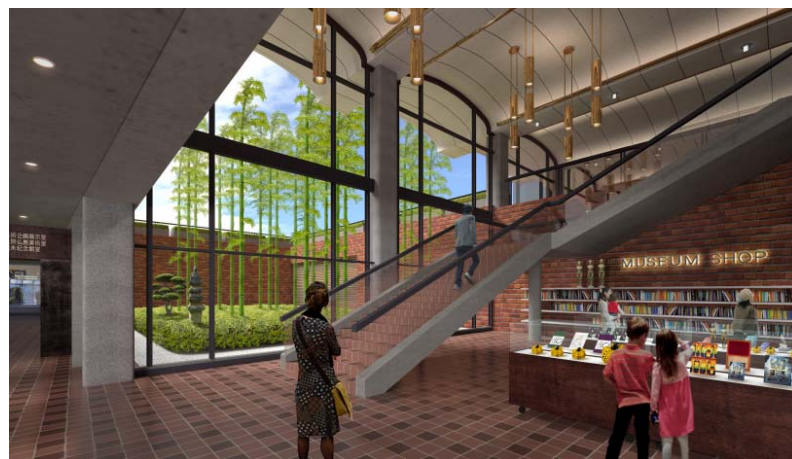
課題: 「情報提供機能の充実」
 ○ 情報端末を設置し、所蔵品のデータベースや展覧会情報を提供する

3) レストラン改修

課題: 「便利施設の魅力向上」
 ○ 厨房機器や内装を改修し、レセプションにも対応可能なレストランに改修 (約180㎡)



大濠公園園路からみた新設するカフェとアプローチのイメージ図



1階ロビーに新設するミュージアムショップのイメージ図



2階ロビーエントランスのイメージ図

※左記3点のイメージ図は、基本設計時に作成したものであり、PFI事業者の設計によりイメージ図と異なることがあります。